



のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会（まち協） まち協通信あすなろ

会長 大淵 泰範 / (文責) 事務局長 石橋信幸
事務局 のぞみがおか生楽館 Tel 75-6607 FAX 75-6617

【地域文化祭実行委員会】

実行委員長 江上 茂

2018 「地域文化祭」大盛況！

10月21日、秋晴れの絶好の文化祭日和のもと、沢山の地域の方々のご来場を頂きました。当日、体育館ではサークル団体等自慢の演技披露、校舎内では作品展示、防災ゲーム・カレンダー作成等楽しい体験に人気を博していました。また校庭では、各種模擬売店の味自慢を買求めに長蛇の列ができていました。本年は、約3,000名の方々のご来場を頂き大盛況のなか終了しました。なお、チャリティバザーの売り上げ32,760円は平成30年7月豪雨災害義援金に寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



(来場者歓迎アーチ)



(三國中吹奏楽部：オープニング)



(もちまき：フィナーレ)

【スポーツ部会】

部会長 長廣 学

スポーツでふれあい

校区の皆様とのふれあい、親睦・健康増進等、明るいまちづくりを目指し、①天拝山ハイキング(5月20日)②魚釣り(7月16日)③ソフトボール(11月3日)④卓球(11月25日)を行いました。

今後の予定は、12月8日(土)ゴルフコンペを計画しております。



(天拝山山頂：5/20)

「震災地を訪ねて思うこと」

のぞみまち協副会長 中間 敏久

10月に熊本地震の被災地を訪ねた。この地域は、町役場や指定避難所から遠く「自分たちの地域・生活は自分たちで守る」という強い意志のもとに復興委員会を立ち上げて現在も活動中である。

復興委員長は「私たちは、以前からお祭りなど地域のイベントを通して住民の繋がり(絆)を深めてきました。震災後は、この住民のまとまりによる“共助”が避難生活に大いに役立ちました」と話された。

今回、被災地を訪ねて、私たちの地域も一刻も早い自主防災組織の確立と住民の繋がりを大事にしなければならぬと思った。

★まち協通信に記事掲載希望がございましたら、のぞみがおか生楽館にお声かけください。次号は年度末の発行を予定しています。

国土交通省に呼ばれた自治会バス事業

のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会
会長 大淵 泰範

私たち「のぞみが丘小学校区」におきましては、先進的取り組みで「まち協」の活動が行われており、10月21日には、地域文化祭が盛大に開催され多くの地域住民の方が集まり楽しんでいただきました。

さて、協働のまちづくりの活動も満5年を経過いたしました。「自助・共助・公助」の基本理念は変わらずとも、市内各校区でそれぞれの地域事情に応じた活動が行われています。

7月から、(生楽館が)コミュニティセンターとしてスタートし、「まち協」の活動拠点として、更に自由度の高い運営ができるようになりました。



(2018 地域文化祭)

我が、「のぞみが丘小学校区」におきましては、6つの専門部会(自治会バス・青少年育成・防災・環境・健康福祉・スポーツ)が個性あふれる部会長さんのもと活発に活動され、その成果として、地域住民の交流は深まり、それは地域のブランド力を高め、とりわけ資産価値の向上という好循環を生む結果となっています。

わけてもシンボル部会と位置づけている自治会バス部会は、昨今の高齢者免許証返納問題や買い物難民への対応策として注目され、8月にバス部会の今井事務局長が「国土交通省」に招聘され、本省職員、関係者に対し、約1時間にわたり事業内容について説明いたしました。一地方都市の住民運動がこのような矚目すべき形にまで発展しましたのは、安全運転を支えてくださる20名のボランティア運転手の皆様のご協力と利用者の厚いご支持のおかげと感謝申し上げます、皆さんとともに喜びたいと思います。

「協働のまちづくり」とは、まち協が行うさまざまなイベントや地域課題への取り組みに行政がバックアップするという形で成り立っています。

目的はひとつ、住民の「QOLの向上」に資することです。今年度も、各部会の活動が更に活発となり区民の交流の美があがりますことを祈念いたしましてご挨拶いたします。

【自治会バス部会】

部会長 三島 栄二

バス停がわかりやすくなりました！

自治会バスのバス停（歩道）に、黄色と青色の路面表示シールを貼らせていただきました。利用者の皆さんからは「分かりやすくなった」と大好評です。皆さんも探してみませんか～。



自治会バスを利用される方は、バス停表示場所や路線ルート上で、必ず手を挙げてお知らせください。

特に、バス停以外の場所で乗車される場合は、運転手が気付かない場合がありますのでご注意ください。

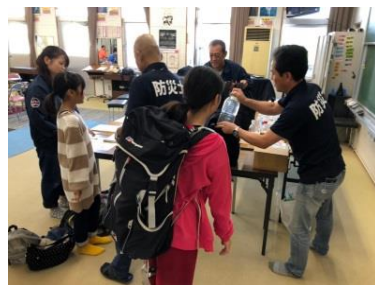


【防災部会】

部会長 梅崎 満晴

いざという時のために～日頃からの備えは私たちを救う～

防災部会は、美鈴が丘、希みが丘両区の自主防災組織と連携し、災害が発生した時に私たちが何をすればよいのか、また地域でどのように支えあうことができるのか考え、準備を行っています。今年は、10月3日にのぞみが丘小3年生に、地域の防災の取り組みについて授業を行いました。また、地域文化



祭では、昨年と同じ非常持出品の重さ体験に併せ、地震災害の時に役に立つ新聞スリッパの作り方や、浸水災害の後に役に立つキッチンペーパーマスクの作り方を紹介。親子で体験でき、簡単に作れるスリッパやマスクは、とても好評を博しました。今後は、区の役員や自主防災組織の皆様を対象に災害時の初動時に行う行動のマニュアルづくりにつながる災害対応行動訓練を行う予定にしています。



「どんど焼き」行事のお知らせ

○日時：平成31年1月14日（祝）

○場所：のぞみが丘小学校 運動場

※「竹の櫓（やぐら）」を組んで、お正月しめ縄（飾り）・書初めを燃やし、無病息災を祈念する行事です。細部要領は、12月に回覧でお知らせいたします。



【青少年育成部会】

部会長 酒井 孝和

第17回ウォークラリー大会！

11月4日、すがすがしい秋晴れの下、ウォークラリー大会を開催しました。今年は『美鈴とあすみを探検しよう！～歩いて発見 僕たち私たちの地域～』をテーマに、約130名の参加者が、弁財天・あすみ（奏公園）一の口公園をチェックポイントとしてコースを巡りました。チェックポイントでは、じゃんけんゲーム・輪投げ・ペットボトルボーリング等のゲームを行い、地図を片手にゴールを目指しました。



ゴール後は小郡消防署三国出張所の方の指導のもと、AED・水消火器取り扱いの体験をした後、参加者全員で「カレーライス」を美味しく頂きました。

このウォークラリー大会では、三国中学校男子卓球部30名が、受付から歩測計測、チェックポイントでのゲームのお手伝い、交差点での交通見守りなど、ボランティアとして頑張ってくれました。

運営に携わって頂きました三国中学校・のぞみが丘小学校の育成会の皆様をはじめ、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。



（弁財天付近）



（一の口公園）



（AED取扱体験）

【健康福祉部会】

部会長 宮本 英美

健康寿命を延ばそう！

健康寿命を延ばそう”の掛け声で例年開講しています『自分サポートプロジェクト』を今年も10月から実施しています。

講座内容は、（体力測定・体操教室「ロコモトレ・ゴクニサイズ等」）自分の健康状態に合わせた体操を行います。自分の体力を知り、楽しい健康体操を通じて体力の維持向上を図りましょう。



○12月の講座は

①12月9日（日）10時～
＜美鈴が丘公民館：健康体操＞

②12月16日（日）10時～
＜のぞみ小多目的教室：体力測定＞



あと2回の講座を予定しています。ユーモアを交えた楽しい健康体操に、あなたも参加しませんか！お待ちしております。お気軽にお越しください。